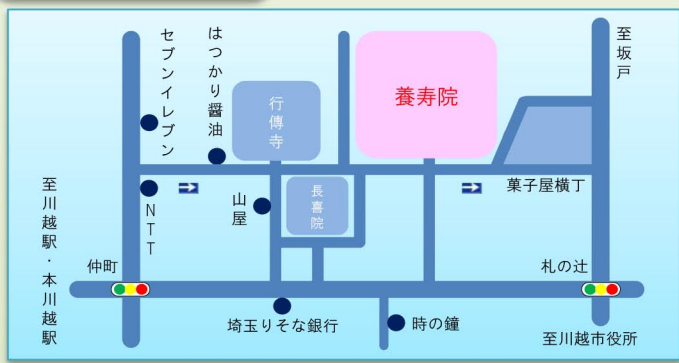


## 交通アクセス



### 電車でのアクセス

西武新宿線「本川越駅」より 徒歩約15分

東武東上線・JR川越線「川越駅」より  
蔵の町方面行き東武バス→「一番街」下車 徒歩約3分

## お問い合わせ

### 養寿院寺子屋論語塾事務局

委託会社：株式会社 彩プロダクツ  
〒351-0007 朝霞市岡2-2-23 TEL:048-465-8520

## 申し込み方法

添付の申込用紙に必要な事項を記入の上、下記の方法でお申し込みください。



FAXでのお申し込み

048-464-1485 養寿院寺子屋論語塾事務局



HPからのお申し込み

「養寿院 川越」と検索して下さい

### 運営協力団体



#### NPO団体 武蔵てらこや

てらこやは、全国30か所以上で、地域の大人、学生、子どもたちが共に学び、共に育つ、地域教育を行っています。お寺という場の力を活かし、大学生が主体となって企画、運営を行い、地域の方々が見守りながら活動を行っています。

また、活動をサポートして頂ける、大人、学生の方々の募集もしております。詳しくは、彩プロダクツまでお問い合わせください。



# 養寿院寺子屋論語塾



子日わく、  
学びて思わざれば、  
即ち罔し。  
思いて学ばざれば、  
即ち殆し。

## 日程

- 【第1回】 4月29日(金)15:30～
- 【第2回】 6月 4日(土)15:30～
- 【第3回】 10月 8日(土)15:30～
- 【第4回】 12月10日(土)15:30～

## 参加費

大人：2,000円  
高校生/大学生：500円  
小中学生：無料

# 【養寿院寺子屋論語塾FAX申込書】

平成28年 月 日 本紙を切り取らずに、そのまま送信して下さい

FAX.048-464-1485

※ご参加をご希望される日にちに○を付けて、必要事項をご記入ください。(複数○記入可)

【第1回】 4/29(金)	【第2回】 6/4(土)	【第3回】 10/8(土)	【第4回】 12/10(土)
------------------	-----------------	------------------	-------------------

お名前

ご住所

TEL

大人

名・高校/大学生

名・小中学生

名



## 安岡定子代表ご挨拶



『論語』は古来日本人の身近にあり、心の拠り所となってきました。

お子さんとは、まず大きな声を出して読みます。

漢文独特の美しいリズムを楽しんでいるうちに、名文・名句が体に染み込んでいきます。

一度身についた言葉は生きる力、考える力となり、一生の宝となります。どうぞお気軽にご参加下さいませ。

## プロフィール

東京都生まれ。漢学者・安岡正篤の孫。二松学舎大学文学部中国文学科卒業。

「銀座・寺子屋こども論語塾」の代表として、全国各地で25に及ぶ定例講座を受け持ち、子どもたちやその保護者に『論語』を講義して、話題を集める。

『こども論語塾』シリーズ（全3部・明治書院）は合わせて30万部を超えるベストセラーとなり、論語ブームの火付け役と言われる。

企業向けの研修にも力を注ぎ、とくに新入社員研修では『論語』の章句をテキストに、社会人として人間として、いかに実りのある人生を送るかをわかりやすく解説し、好評を得ている。

2015年6月 日本通運株式会社 社外取締役就任。

著書に『素顔の安岡正篤（新版）』（PHP研究所）『はじめての論語』（講談社）『子や孫に読み聞かせたい論語』（幻冬舎）などがある。



## 担当講師紹介



## 太田祐美

神奈川県出身。獨協大学外国語学部英語学科(国際関係専攻)卒業。

卒業後キッコーマン株式会社にて外食事業営業に従事。その後結婚、育児を経て、2004年人材系コンサルティング企業に就職。

コンサルティング業務の傍ら同企業主催の漢学者・安岡正篤師勉強会及び安岡定子氏のこども論語塾事務局を担当し、論語に出会う。

2010年コンサルティング企業を退職し、論語講座の第一人者安岡定子氏に師事。

2012年より大田区大森青い鳥チャイルドケアセンターにて「こども論語講座」

2014年より福島県伊達市教育委員会主催の「こども論語講座」2講座を受け持つ。

安岡定子事務所所属の論語講師として現在に至る。

## 寺子屋論語塾～当日の流れ～

- ①ご来寺されましたら、本堂向かって右側の玄関より、受付を済ませてください。（受付開始は15:00より行います）
- ②本堂に上がり、御本尊様にご挨拶をお願いします。（焼香）
- ③本堂内の会場でお待ちください。

※定員は、お子様35人・大人40人とさせていただきます。定員になった場合は、先着順とさせていただきますので、予めご了承下さい。定員に満たない場合は、当日券をご用意します。

## 当山住職

江戸時代、当院にはいくつかの塔中寺院があり、そのうちのひとつで寺子屋が開かれていました。一般に寺子屋は庶民の塾として「読み・書き・算盤」を教えていたそうですが、教材に論語が使われたこともあったようです。

この度、縁あって、安岡定子事務所様の論語教室を当院で「寺子屋論語塾」として開講することとなりました。論語には人生万象の答えがあると言われ、長い歴史の中で多くの偉人が決断にあたって「論語」をその判断の拠り所としてきました。仏道はより良い生き方を希求し実践するものですが、論語も人生を豊かにするための示唆に富んでいます。

学びの入り口として、まずは声に出して素読し、その音感を楽しんでみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。



## 青龍山養寿院

養寿院は曹洞宗に属し、寛元元年（1243年）、秩父平氏の末裔河越次郎経重公（遠江守）が開基となり、大阿闍梨阿圓慶法印が開いた古刹です。

本尊は釈迦牟尼如来（華嚴の釈迦如来）、脇侍に観世音菩薩・弥勒菩薩を配し、「三世佛」の扁額を掲げています。

開創当初は台密の寺（天台系密教寺院）であったが、天文4年（1535年）時の住職隆専上人、曹洞宗太源派下扇叟守慶和尚の道風を慕い寺を付属し禅宗寺院となりました。

三世堯室存舜和尚の時代、徳川家康公ご来駕の折、御朱印十石を賜るなど、歴代川越城主の信仰も篤く多いに栄え、かつては曹洞宗専門僧堂（修行道場）として多くの人材を輩出した禅寺です。